

# 中山間地振興 学生ら調査発表

浜松の中山間地域の振興策を議論する「まちむらリレーション市民交流会会議」が22日、浜北文化センター（浜松市浜名区貴布祿）で開かれる。地域に関わる人を意味する「関係人口」を提唱する有識者の基調講演や、静岡文化芸術大（同市中央区中央）の学生が調査した課題の発表会などがある。

浜松市と文化芸大が共催し、今年で9回目。会議は2部制。1部では島根県立大の田中輝美准教授（関係人口論）が、「地域づくりの新しい仲間・関係人口」と題して、地域外に住む家族や過去に居住経験がある人など地縁、血縁者の重要性を紹介

## 浜松で22日、市民会議

する。

2部では、文化芸大の船戸修一教授（地域社会学）のゼミ生が、浜名区引佐町の久留女木地区で行ったアンケート結果を報告する。同地区の50世帯127人からの回答をもとに、地区外に住む家族の有無や理由を考え、地区の振興を探る。

文化政策学科1年の原理純さん（19）は、地区外に住む子どもや孫が定期的に帰省すれば祭りや行事が途絶えず、集落を維持できるとして「人口減少、高齢化の集落に関わる人を増やし、集落を存続させるために自分も貢献できたら」と語る。

浜名区引佐町の鎮玉地区で地域活性化に取り組むNPO法人「ひずるしい鎮玉」の広瀬稔也事務局長からの活動報告もある。

午後1時開場、同1時半開演。入場無料。◎浜松市市民協働・地域政策課 053(922)0200  
(荒木正親)

まちむらリレーション市民交流会  
会議をPRするポスター―浜松  
市中央区の静岡文化芸術大で

